

企業のための AI 活用ガイド



ご提案書



エグゼクティブサマリー

多くの企業で、人手不足と業務の属人化が慢性化し、「AIで効率化したい」という期待が高まっています。一方で、「何から始めるか」「自社データを扱って安全か」「投資に見合うのか」という不安から、踏み出せない、あるいはPoC止まりになる企業も少なくありません。

本提案は、いきなりツールを導入するのではなく、「業務の整理」から始めるアプローチです。現状を可視化し、効果の高い業務から小さく試し、ルールと運用込みで現場に定着させます。社内SE・PM・CTOの実務経験をもとに、専門用語に頼らず、要件整理から導入・運用まで一貫して伴走します。

多くの企業が直面している課題

- **業務過多と属人化:** 仕事が特定の担当者の経験と記憶に依存し、その人が不在だと止まる。
- **情シス・IT人材の不在/不足:** 相談先が定まらず、ツール選定やトラブル対応が場当たりになる。
- **AIへの期待と不安の同居:** 効率化したいが、「何から」「安全か」「定着するか」が不透明。
- **PoC止まり:** 試したが本番運用・全社展開まで進まない。
- **ベンダーへの“丸投げ”リスク:** 業務を渡しきれず、現場で使われないシステムができあがる。

私たちのアプローチ — "導入"の前に"整理"

AIは「決まった作業を速くこなす道具」です。裏を返せば、業務の流れが曖昧なままでは、うまく当てはめられません。そこで私たちは、ツール選定の前に次の3点を明確化します。

1. この業務で一番なくしたい手間は何か
2. その仕組みを、誰がどう使うのか
3. うまくいったかを、何で判断するのか

この3つが言語化できれば、ツール選びも投資判断も、社内の合意形成も格段にやりやすくなります。

想定ユースケース（優先度つき）



| 優先 | 領域 | 具体例 | 効果の測り方（例） |
|-----|----------|--------------------------------|--------------|
| ★★★ | 文書・事務 | 報告書/議事録/メール/各種文書のたたき台、定型作業の自動化 | 作成時間の削減（○割減） |
| ★★★ | 問い合わせ対応 | 社内ヘルプデスク、FAQ、一次回答の下書き、メール返信支援 | 対応リードタイム・件数 |
| ★★☆ | データ分析・集計 | 表計算・レポートの整理と可視化、定例集計の自動化 | 集計工数、即時性 |
| ★★☆ | 社内ナレッジ活用 | 社内文書・マニュアルをAIに参照させる（RAG） | 検索/回答到達時間 |
| ★★☆ | 開発の内製化支援 | AIネイティブ開発で要件定義～実装～テストを高速化 | 開発リードタイム・コスト |
| ★☆☆ | 営業・マーケ | 提案資料・原稿・コンテンツの素案づくり | 制作工数、発信頻度 |

★は着手しやすさ・効果の出やすさの目安。貴社の状況に応じて優先度を一緒に決めます。

進め方（フェーズと成果物）



私たちは、いきなり大きなシステムを勧めません。**整理** → **小さく試す** → **定着**の順で、コストを抑えながら確実に進めます。

フェーズ1：現状整理（目安 2～4週間）

- 業務の棚卸し、業務フローの可視化、AI適用候補と"そもそも無くせる業務"の仕分け
- 成果物：現状業務マップ、優先業務リスト、想定効果と進め方の提案

フェーズ2：PoC（小さく試す | 目安 3～6週間）

- 最も効く1～2業務で試行・効果検証
- 成果物：試作ツール/プロンプト、効果測定レポート、本運用可否の判断材料

フェーズ3：定着・運用（継続）

- 現場が使える形への整備、利用ルール策定、簡単な研修、運用サポート
- 成果物：運用手順、利用ガイドライン、研修資料

※ 期間は規模・対象業務により前後します。まずはフェーズ1単独からでも開始可能です。

情報セキュリティ・コンプライアンス

- **データ最小化**: 機微情報を入れない設計を基本とし、必要に応じてクローズド（社内完結型）構成を選択。
- **利用ルールの明文化**: 「入れてよい情報／ダメな情報」「使ってよい場面」を文書化し、現場が迷わない状態に。
- **社内方針・ガイドライン整合**: 貴社の情報セキュリティ方針に沿った形へ調整。
- **人が判断する原則**: 重要な意思決定と責任は必ず人が持つ前提で設計。

体制と進行

- 社内SE・PM・CTOの経験をもとに、**要件整理～導入～運用まで一貫して窓口を一本化**。
- 現場とベンダーの間に立つ"通訳"として、専門用語に頼らず進めます。
- 必要に応じて開発チームと連携（過去案件では少人数～数名体制でPM・テックリード・CTOを担当）。

料金・始め方

- **入口：5万円のAI活用診断** — 現状整理と「どこにAIが効くか」のご提案。
- **無料相談** — 要件が固まっていない段階でのご相談を歓迎。
- フェーズ2以降は、対象業務・規模に応じて個別お見積り。**小さく始めて、効果を見ながら拡大**できます。

実績（抜粋）

- **社内SE | 上場企業**: 業務改善・ベンダー管理・監査対応まで一貫（約5年）
- **不動産 | CTO**: オンプレ→クラウド移管を、インフラ・アプリ両面から要件定義～納品まで一貫
- **医療 | ウェアラブル/クラウド聴診バックエンド**: 開発PMとして要件定義～納品
- **広告 | 自動出稿・キーワード提案ソフト**: テックリードとして開発を主導
- **教育 | 採点業務システム**: PMとして約1年・継続中

守秘のため社名は伏せています。商談時に可能な範囲で詳細をご説明します。

よくあるご質問

- Q. ITに詳しい担当がいなくても大丈夫？** A. はい。専門用語に頼らず、現場・経営の言葉で進めます。窓口も一本化します。
- Q. 自社データの安全性が心配です。** A. 機微情報を入れない設計を基本に、クローズド運用も選べます。利用ルールも明文化します。
- Q. PoCで終わってしまわないか不安です。** A. 最初から「本番運用・定着」を見据えて設計します。効果を測りながら段階的に拡大します。
- Q. 大きな予算をかけずに始められますか？** A. 5万円の活用診断やフェーズ1単独から開始できます。効果を見ながら小さく拡大します。

次のステップ

1. 無料相談（オンライン可）で、貴社の状況と優先業務をヒアリング
2. 5万円のAI活用診断 / フェーズ1（現状整理）から着手
3. PoCで効果を確認し、定着・全社展開へ

オーバーライト株式会社 (OVERWRITE INC.) 神戸 | Web: overwrite.jp | お問い合わせ: overwrite.jp のお問い合わせフォーム



スマホで読み取り → 無料相談へ

overwrite.jp（お問い合わせ・5万円AI活用診断はこちら）